

設立趣意書

ロボット関連産業は、21世紀の日本が高い技術力を基盤として世界をリードする産業の一つとして、大きな成長が期待されています。

ロボットは、センサーやアクチュエータ、コンピュータやソフトウェアなど、あらゆる“ものづくり技術”を必要とするとともに、それらの技術を非常に高度なレベルで統合したシステムで、個々の製品ごとに技術の摺り合わせを要する典型的な垂直連携型産業といわれています。

こうしたことから、京浜臨海部をはじめとして世界最高の水準で高度部材産業や摺り合わせ型産業の集積があり、人材の集積もある川崎、神奈川には、大きな優位性があるとともに、高い技術力を持つ幅広い分野の製造業の企業に参入と成長のチャンスがあります。

また、サービス事業者にとっては、ロボットテクノロジーの活用は、これまでの労働集約型のサービス提供プロセスを劇的に変化させ、労働生産性を著しく向上させる可能性を秘めています。

さらに、少子高齢化の進展や団塊の世代の労働市場からの一斉退出などによる労働力不足、技術・技能の断絶の懸念、介護福祉サービス需要の急増など、さまざまな社会的課題の解決に向けた一つのアプローチとして、ロボットテクノロジーには大きな役割が期待されています。

しかし、一方で、ロボットは産業として黎明期にあり、課題は技術開発だけでなく、ビジネスモデルの確立、新たな市場の創成、安全に関する社会のコンセンサスづくり、産学・産産連携の推進など、関係者が協力して環境づくりに努める必要があります。

そこで、ロボット関連メーカー（要素技術及びシステム化メーカー）、サービスプロバイダー、大学・研究機関、行政等ロボットビジネスの推進を目指す関係者が一堂に会し、川崎、そして神奈川の地から、ロボットを活用した新たなビジネスを創出するため、「かわさき・神奈川ロボットビジネス協議会」を設立することといたしました。

平成 18 年 11 月 2 日

設立発起人 神奈川県知事 松沢 成文
川崎市市長 阿部 孝夫
財団法人川崎市産業振興財団 理事長 君嶋 武胤
財団法人神奈川中小企業センター 理事長 小森 良治
川崎商工会議所 会頭 長澤 明彦
株式会社イクシスリサーチ代表取締役 山崎 文敬
特定非営利活動法人国際レスキューシステム研究機構 理事 石黒 周
株式会社サンフジ企画 取締役横浜支社長 小泉 直毅
セントラル電子制御株式会社 代表取締役 桂田 忠明
株式会社東芝 執行役常務 研究開発センター所長 田井 一郎
明治大学 理工学部長 向殿政男